

Ⅵ 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目（該当する分野、種目を選択してください。）

分野	伝統芸能	種目	邦楽
----	------	----	----

申請区分（申請する区分を選択してください。）

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無（該当する方を選択してください。）

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制（該当するものを選択してください。）

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。（グレーアウトされます。）

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじん にほんおんがくしゅうだん 特定非営利活動法人 日本音楽集団		
代表者職・氏名	代表理事 尾崎太一		
制作団体所在地	〒 151-0073		
	東京都渋谷区笹塚3丁目17番1号 滝沢ビルB1F		
電話番号	03-3378-4741	FAX番号	03-3376-2033
ふりがな 公演団体名	とくていひえいりかつどうほうじん にほんおんがくしゅうだん 特定非営利活動法人 日本音楽集団		
代表者職・氏名	代表理事 尾崎太一		
公演団体所在地	〒 151-0073		
	東京都渋谷区笹塚3丁目17番1号 滝沢ビルB1F		
制作団体 設立年月	1964年 4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表－尾崎太一、副代表－米澤浩 運営委員長－元永拓、運営委員－久保田晶子・田野村聡・原郷隆・久本桂子・福岡頼秀・山崎千鶴子、事務局－中山美穂子 監事－宮田耕八朗・三田村典昭	団体構成員／正会員67名、協力会員48名、賛助会員 法人4、個人17人（以上、計130名、4法人） 加入条件／本団の趣旨に賛同し、プロとしての音楽活動を行う事。または、本団の趣旨に賛同し協力・支援する事。	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	米澤 浩
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	中山 美穂子

制作団体沿革	1964年に、演奏家と作曲家の14名で設立され、同年11月に第1回定期演奏会を開催した。 1999年特定非営利活動法人に認定され、年3回の定期の他、全国各地の鑑賞団体や文化施設、小・中・高等学校での鑑賞会、CD、放送、映画、演劇の音楽担当などの演奏活動を行う。 1981年には、ライブチャリティ・ゲヴァントハウス・オーケストラ命名200年記念委嘱作品「急の曲」(三木稔作曲)を音楽監督クルト・マズア氏指揮により初演。海外の音楽祭にも多数参加し、2001年には邦楽アンサンブルとしては初めて「ブラハの春」に招聘された(第25次海外公演)。 2008年ブラジル移住100周年記念事業「ブラジル日本移民百周年記念音楽祭」(第28次海外公演)、2009年カナダ(第29次海外公演)、2010年ユーラシア音楽祭を含むロシア、モンゴル公演(第30次海外公演)を実施した。 定期演奏会は、2021年7月までに233回を数える。			
学校等における公演実績	私共団体は、昭和39年（1964年）に任意団体として設立し、平成10年（1998年）までに723公演以上の学校鑑賞会の実績を持ちます。（但し、創立から昭和57年までの実績データは不明です。） 平成11年（1999年）にNPO法人となって以降は400公演以上の実績を持っていますが、その中で特筆させて頂きたいのは、認定NPO法人トリトン・アーツ・ネットワークと共同して実施している『Meet_The_和楽器』プロジェクトで、この事業を実施する過程で「箏体験プログラム《さくらリレー》（YK版）」を確立させたことです。 この「箏体験プログラム《さくらリレー》」と「鑑賞プログラム」で構成された『Meet_The_和楽器』は、2020年度までに55公演を行っています。			
特別支援学校における公演実績	平成26年度／愛知県立豊橋特別支援学校 平成27年度／滋賀県立三雲養護学校・大阪市立平野特別支援学校 平成28年度／福岡県立福岡聴覚特別支援学校・長崎県立盲学校 平成30年度／青森県立八戸聾学校・盲学校			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	有	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	DVDを提出します	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
	PW:			

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人 日本音楽集団 】

対象	○	小学生(低学年)	-	中学生		
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	『ごんぎつね』 ～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	(1) 『宮崎駿アニメ・メドレー』 (秋岸寛久編曲) (2) ～(6) 『日本の楽器たち』 (古典作品) ／六段の調、鹿の遠音、春の海、那須の与一、幕間三重・獅子狂い五段 (7) 『子どものための組曲』 (篠田大介作曲) ～休憩 (10分)～ (8) 『ごんぎつね』 ～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～／児童生徒代表と共演 (作：新美南吉、音楽：川崎絵都夫、作詞：佐藤万里) 公演時間 (100分)					
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得済	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	第1部では、色々な日本の楽器について司会者(協力俳優)と演奏者とのお話しで紹介しながらそれぞれの古典作品と現代の合奏曲を聴いて頂きます。 第2部では、児童生徒代表の皆さんと『ごんぎつね』～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～で共演します。 『ごんぎつね』～語りと合唱と邦楽器で作る音楽朗読劇～は、NHK東京児童合唱団をゲストに迎えて2013年第210回定期演奏会においても再演されている作品で、教科書に掲載されている原文のままです。7種類の日本の楽器と共演できる作品です。 国語の授業で「ごんぎつね」を学習した中・高学年の児童生徒の中から、学校側で代表の学年を選出して頂き、日本音楽集団の演奏者と共演して頂きます。					
演目選択理由	小学校では4年生の国語の授業で新美南吉の「ごんぎつね」を学習しますが、この身近な物語をメイン・プログラムにおいた公演を鑑賞することで、日本の楽器をより身近に感じてもらうように意図・構成しています。 「ごんぎつね」で児童生徒の代表と演奏者が一緒に音楽朗読劇を作り上げる《共演体験》を持つこと、本公演での発表を通じて児童生徒の代表が演奏者と《達成感を共有》すること、そして児童生徒代表と日本音楽集団との共演を全校で鑑賞することにより、全校児童生徒の皆さん全員で《間接的体験》を共有することも意図しています。 又、上記の演目内容にある『日本の楽器たち』では、それぞれの古典作品を紹介することはもちろんのこと、それぞれの演奏家が現在に至る「演奏家としての個人史」にも触れて《キャリア教育的要素》を盛り込むことも意図しています。 併せて、共演する児童生徒代表がワークショップにおいて《自らが体験した日本の楽器(箏)と共演》する体験や、日本音楽集団の演奏者と協働して作品を作り上げること等、《参加型体験要素》も盛り込むことも強く意図して構成しています。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	『ごんぎつね』を国語の時間に学習した4年生以上の児童生徒が代表となり、《ごんの歌》で日本音楽集団と共演し、児童生徒代表の皆さんと日本音楽集団の演奏者が「音楽朗読劇を作り上げる過程」を共有し、「協働の場」を児童生徒代表と演奏者として持つことを意図しています。 又、ワークショップ・本公演日の両日、児童生徒代表の皆さんと日本音楽集団の演奏家が「給食交流」で交流を深めることを推奨しています。 本公演において、児童生徒代表と演奏者が協働した成果を全校児童生徒に発表し、共に作り上げた「音楽朗読劇」の鑑賞を通じて全校児童生徒の皆さんに《間接的体験》を共有してもらうことも意図しています。 尚、児童生徒代表の皆さんとの共演形態は学校側の要望に可能な限り沿うよう、基本パターンを巡回公演の実施が決まった各校に日本音楽集団から配布する【実施の手引き】に記載しました。					
出演者	笛／竹井誠・新保有生・あかる潤・芝有維、尺八／元永拓・原郷隆・田野村聡、三味線／杵家七三・山崎千鶴子・簗田弘大・長井麻江、琵琶／久保田晶子・藤高理恵子、箏(こと)／熊沢栄利子・桜井智永・三宅礼子・喜羽美帆、十七絃箏／城ヶ崎美保・丸岡映美・久本桂子・石井香奈、打楽器／臼杵美智代・多田恵子・盧慶順・山内利一、他 以上、7名7種(笛・尺八・三味線・琵琶・箏・十七絃箏・打楽器)の日本音楽集団団員 司会と朗読／飛山真利子・竹井沙紀・吉瀬 はなこ(助演) (7名の奏者と語り手1名、計8名を派遣)					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 8 名 スタッフ: 1 名 合 計: 9 名		機材等 運搬方法		積載量: 1.25 t 車 長: 4.69 m 台 数: 1 台	

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		1	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	9時30分	9時30分～12時15分 (リハーサル含む)	13時30分～15時10分	10分	15時20分 ～15時50分	16時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時間分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	最大160名／ 楽器体験：1コマ45分でクラス単位で実施、最大4クラス 共演の練習：合同で45分				
	本公演	50名～300名				
ワークショップ 実施形態及び内容	【1】楽器（お箏）体験／ 代表児童生徒の皆さんを対象に、クラス単位で楽器（お箏）体験を実施します。所要時間は1 クラス（1コマ）45分で、最大4クラスまで実施できます。 【2】共演の練習／ 代表の児童生徒の皆さん合同で『ごんぎつね』の歌で共演する練習を行います。所要時間は 45分です。 ◆別添シート（会場設営・弾き方の説明、他）へのリンクあり◆					
ワークショップ 実施形態の意図	ワークショップにおいて実施する『箏体験プログラム《さくらリレー》』は単純にお箏に触 れるプログラムではなく、2人1組のペア同士が協力して「さくら」を演奏し、かつクラス全 体でリレーして行く内容です。皆で協力して演奏する協力要素も盛り込んだ「参加型体験学 習」として『箏体験プログラム《さくらリレー》』を実施しています。尚、『箏体験プログラ ム《さくらリレー》』は、1校時分の時間（45分）を掛けてクラス単位（最大40名）で実 施していきます。 「ごんぎつね」の共演リハーサルでは、《音楽作品を演奏家と一緒に作り上げる経験》を持 つことで、演奏家と協働体験も共有することを意図しています。					
特別支援学校での 実施における工夫点	これまでの特別支援学校での事業実施では、各校ごとに『どのような形でワークショップや 本公演を実施（児童生徒の参加方法）するのが望ましいか』が異なり、ご担当の先生方との事 前打ち合わせを丁寧に行い、各支援学校の児童生徒さん方の個性に合わせて先生方の協力を仰 ぎつつ実施プログラムを修正して対応して参りました。 楽器の体験においては、体育館で正座できない児童生徒にも対応できるよう別添の写真のよ うに、車椅子やベッド等の児童生徒にも対応できる補助方法などを学校側と協力して工夫し、 実施して来ています。 ◆別添シートへのリンクあり◆					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.3	【公演団体名 特定非営利活動法人 日本音楽集団 】
① 【ワークショップ】 会場の設営		
	公演の1ヶ月程度前に日本音楽集団の演奏者（尺八・三味線・二十絃箏・十七絃箏・打楽器の5名）と協力俳優が実施校に伺いワークショップを実施します。 最初に『ごんの歌』で共演する児童生徒代表の皆さんを対象に、<u>最大20面のお箏を持ち込み『箏体験プログラム《さくらリレー》』を実施します。</u> 『箏体験プログラム《さくらリレー》』は、<u>クラス単位で実施して最大4クラスまで実施可能</u>です。	
	② 【ワークショップ】 箏の弾き方説明でのTV 使用	 箏の弾き方は、日本音楽集団がビデオカメラ（モニターカメラ）やカメラの三脚、接続コード類を持ち込み、写真のように判りやすく演奏者が解説します。 <u>（モニターには、学校の電子黒板かテレビモニターを使用します。）</u>
③ 【ワークショップ】 共演の練習	 お箏を体験した後に『ごんぎつね』で朗読を担当する協力俳優の指導で『ごんの歌』での共演リハーサルを行います。<u>歌のリハーサルは共演する児童生徒代表の皆さん全員の合同で行い、所要時間は45分</u>です。	

④ 特別支援学校での工夫



特別支援学校では、先生方からのご協力も仰ぎながら、ベッドに寝ていたり車椅子に座っていたりする生徒さんにも楽器体験をしてもらえよう工夫しています。

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA

子どもたちへのメッセージ

The Message for Children

1、「新美南吉 生誕百年記念」

ごんぎつね

(新美南吉原作・佐藤万里作詞)

川崎絵都夫作曲…1998年、2011年改訂

語り…飛山真利子

合唱…NHK東京児童合唱団

2、日本の音たち―伝統楽器紹介のための

《子供のための組曲(長澤勝俊作曲…1964年)より》

3、ひかりのうたげ

(童声合唱と邦楽器のための)

(信長貴富作曲…2005年)

指揮…苦米地英一

合唱…NHK東京児童合唱団

4、八声のコンチエルティーノ

(福嶋頼秀作曲…委嘱初演)

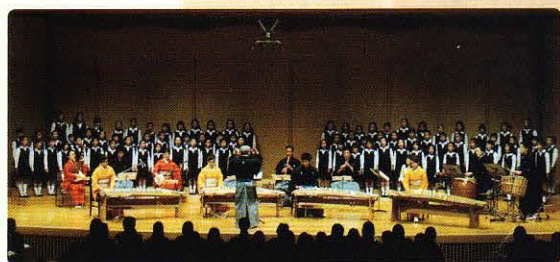
指揮…稲田康

5、スーパー歌舞伎「ヤマトタケル」より

ヤマトタケル組曲

(長澤勝俊作曲…1986年)

指揮…田村拓男



【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	G100	分野	伝統芸能	種目	邦楽	ブロック	G	区分	A区分
公演団体名	特定非営利活動法人 日本音楽集団				制作団体名	特定非営利活動法人 日本音楽集団			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談
控室について	必要数 *	1室	条件	女性の出演者が着替える可能性があるため、カーテン等が必要です。				可
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			バン (ハイエース)	1台			不可
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細							
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			車長／4. 69m、車幅／1. 88m、 車高／2. 1m				不可
	搬入車両の横づけの要否 *			要				不可
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			5m以内で屋根が必須				不可
	搬入経路の最低条件			雨天であっても楽器を濡らさずに搬入できること				不可
	理由			ワークショップで使用する【体験用のお箏】も演奏者が使用する【本番用の楽器類】も、雨等で濡らすことは不可				
	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可				不可
	搬入間口について 単位:メートル		幅	2m以上	高さ	2m以上		—
WSについて	参加可能人数		最大 160名					可
	学年の指定の有無 *	あり	指定学年 *	4年生以上				可
	所要時間の目安 単位:分	WSは【楽器(お箏)体験】と【共演の練習】で構成。 【楽器(お箏)体験】は「クラス単位で実施」し、1コマ45分で最大4コマまで。 【共演の歌の練習】は楽器体験を行った児童生徒の「合同で実施」し45分。					不可	
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの 所要時間		※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数		50名～300名					可
	舞台設置場所 *		フロア					可
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	8m以上	奥行	3m以上	高さ	3m以上	可
	体育館の舞台を使用 する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			要			不可
		舞台袖スペースの条件 *			演台やピアノ等のものが無いこと			不可
		緞帳 *	要		バトン *	不要		可
	遮光(暗幕等)の要否 *		不要	理由	暗幕は使用しません			可
	ピアノの調律・移動の 要否 (調律費・移動費は経 費対象外です)	指定位置へのピアノの 移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面 にて御確認ください。			可
		ピアノの事前調律 *		不要			可	
	フロアを使用する場 合の条件	バスケットゴールの設置 状況 *		格納されていれば可			可	
	公演に必要な電源容量		通常のコン セントで可	※主幹電源の必要容量			可	
	その他特記事項							応相談
WS・本公演時共に、学校の音響設備(ポータブルスピーカー＆マイク等)をお借りします。							可	
WSの楽器体験で「弾き方の説明」をするために電子黒板かテレビモニターをお借りします。							可	
モニターカメラやカメラ三脚等は私共で持ち込みます。							可	

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	2m以上	高さ	2m以上
搬入車両の横づけの要否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		5m以内で屋根が必須		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

